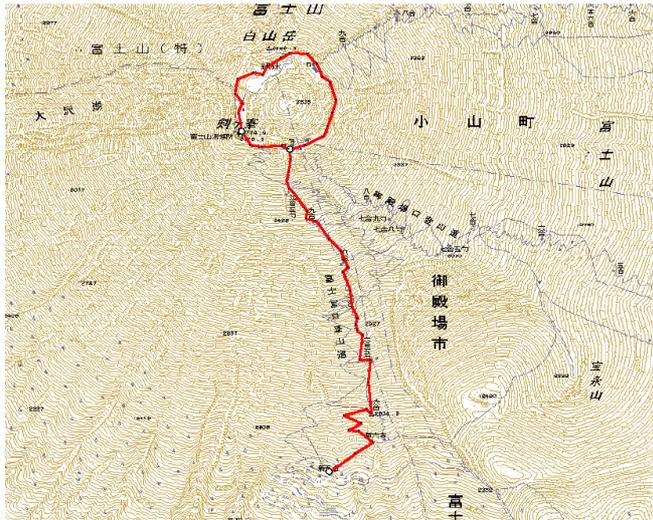


7 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会 個人</span> 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL: 藤田 勝啓 SL: 金子 清 竹内 幹雄、神戸 和広 町田 修、津田 廣一(記)
山 域	富士山	報告日	07/09		
山 名	富士山	山行日	14 年 07 月 06 日(日)		

山行目的	ピスコ トレーニング (高地順応)	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-------------------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 富士山・須走

お鉢巡り中の風景⇒

7/6 晴後曇り

- 00:10 刈谷N1P発
- 03:40 富士宮 5 合目P着
- 04:25 富士宮登山口発
- 05:25 新7合目1本(15分)
- 06:35 8合目1本(15分)
- 07:20 9合目(10分)
- 08:30 富士宮頂上(15分)
- 09:00 剣ヶ峰(20分)
- 09:20~10:20 お鉢巡り
- 10:30 富士宮頂上発
- 11:00 9合目1本(10分)
- 12:10 新7合目1本(5分)
- 13:00 富士宮登山口下山
- 14:00~15:00 ☁
- 15:40 刈谷差



出現した影富士 (6 合目)



8 合目からの風景



剣ヶ峰を目指して

〈山行報告〉 天候が、良くないとの予測から、山頂ビバークを断念。日曜日の深夜(0 時)発の日帰りピストン山行へ切り替えとなった。真夜中の0時にN駐車場へ集合。門衛さんへ事情を説明し、施錠解除(ご迷惑をおかけしました)。今回は、メンバー全員で富士宮登山口を目指す。本番での行動を想定し、移動車中での仮眠(運転手には申し訳ないが...)後、3 時半過ぎに到着するや、仮眠もなしで眠気を我慢して登山準備。朝飯を食べて、明るくなってきた頃を見計らって出発。ポレポレペースで歩くと15 分程で6 合目小屋に到着するや、小屋のおばさんが「影富士が出てる。あんた達、幸運だよ!」と、叫んでいる。振り返ると薄っすらではあるが、富士山の影。しばし眺めては、上を目指す。1h程歩いて、新7 合目で1 本。雲海が目の前に広がり、雄大な景色を眺める。更に1h程、歩いて8 合目。ここまでは、雪はない。8 合目を過ぎた頃から、登山道にも雪が時々見えるようになってきた。30 分位歩いて、少し、早いが9 合目で1 本。次は頂上までと、張り切って登りだす。雪が増えてくるが、アイゼンを装着する程ではなさそう。九合五尺を過ぎ、傾斜が増した登山道をつづら折りに登っていると、突然の笛と「ラック!」の大音声。右手を見上げるや、1m程の大きな岩と 10~30cm の岩が、いくつか、ごろごろと転がり、次第にスピードを出して転がり落ちて行った。転がってくる方向が登っているルートとずれていたの、事無きを得たが、あんなのがまともに落ちてきたんじやどうしようもない。肝を冷やした後、最後の急登をよじ登ると富士宮頂上が待っていた。小休止後、剣ヶ峰へ向かう。直下の急登を登りきるや、9 時に剣ヶ峰へ。こ

ここで、金子の知り合いのパーティと偶然出会う。奇遇に会話が弾んでいる。人の多い所を避けて、昼飯のお握りを頬張った後、お鉢巡りに向かう。お鉢巡り等で 2h程を頂上で過ごしては、一気に下山。13 時に下山しては、天母の湯で汗を流し、至福の一時を過ごす。小休止後、交代運転で明るい内に刈谷へ帰ってくる事ができた。山頂ビバークは、かなわなかったが、ピスコに向けた良いトレーニング山行であった。

〈リーダー所見〉

悪天候が予想され山頂ビバークは断念しましたが、寝不足の体で頂上往復とお鉢巡りが出来、多少なりの高地順応になったと思います。  
各自が現時点での体調把握と弱点を確認して、ピスコ登山までの残り1 か月を充実したトレーニングと抜けない準備をしていきましょう。  
全員登頂に向けてこれからが正念場です。



富士山剣ヶ峰にて

金子・津田・神戸・町田・竹内・藤田

確認  
(リーダー)

作成  
(報告者)  
津田  
14.07.07